

令和3年度

# 事業報告書

公益財団法人 沖縄県畜産振興公社

# 令和3年度 事業報告

自：令和3年4月 1日

至：令和4年3月31日

## 1 事業内容

### 〈総括〉

本県の令和2年農業産出額は910億円で、前年に比べ67億円（6.9%）減少した。畜産部門については397億円で、前年に比べ62億円（13.5%）減少となった。農業産出額の品目別では、肉用牛は198億円で、前年に比べ41億円（17.2%）減少となったが第1位を維持した。豚は115億円で、前年に比べ17億円（12.9%）減少し第3位であった。また、鶏卵は32億円で、前年に比べ4億円（11.1%）の減少、生乳は35億円で、前年に比べ1億円（2.9%）増加した。

令和3年度の県内における肉用牛や豚枝肉価格の状況は、肉用子牛の取引頭数が25,050頭で、前年度に比べ139頭を下回ったが、平均取引価格は約690千円で、前年度に比べ67千円上回った。肥育牛については、令和3年1月、2月、6月に補てん金交付があり、5カ年連続の発動が続いている。また、豚枝肉の平均卸売価格は、485円/kgと前年度の502円/kgを下回ることとなったが、夏場や年末には価格が高騰したことにより年間を通じては生産費を上回ったため、8カ年連続で補てん金の発動はなかった。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も県産畜産物は観光産業、外食産業における需要が減少し、大きな影響を受けた。そこで当公社では昨年度に引き続き、コロナ対策関連補助事業を活用し、学校給食ヘアグー豚肉、鶏卵等の提供を実施した。

公社独自の取り組みとしては「県産食肉異業種連携緊急販売促進事業」により、県ホテル協会と連携した県産和牛肉フェアを実施した。

さらに、新型コロナの影響により中止となった「おきなわ花と食のフェスティバル2022」の代替施策として、WEB特設サイトにおける「まーさん市場」オンライン販売会の実施や、県内企業への県産食肉団体購買促進、子ども食堂等への規格外卵の支援等の緊急対策も実施した。

地域や畜種毎の課題解決に向けた新たな取組支援としては「地域・畜産業振興施策スタートアップ事業」、ト畜頭数の伸び悩み等により経営が厳しくなっている、離島地域の食肉センターへの経営健全化の取り組みを支援する「離島地域畜産活性化整備事業フォローアップ事業」を実施した。

その他、国、県及び独立行政法人農畜産業振興機構等による支援の下、肉

用牛対策、養豚対策及び消費拡大対策等の事業を積極的に実施してきた。

事業別内訳をみると、「1 家畜・畜産物の価格安定事業」の事業費は155,165千円であり、子牛価格が高値で推移したため、肉用子牛生産者補給金制度では、全品種で補給金の交付はなかった。一方、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付額は、肉専用種の6,667千円であった。肉豚経営安定交付金制度の積立金支出で117,331千円、その他推進事業費で31,167千円であった。

「2 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業」の事業費は、35,656千円であった。家畜改良促進事業で、全国畜産共進協議会負担金542千円、沖縄県畜産共進会協議会負担金1,500千円、肉用牛の育種価の普及のために県家畜改良協会への委託事業費2,000千円であった。畜産物需給総合調整事業では、県産食肉等消費促進支援事業による「うちなーいい肉の日」等のイベントの開催や県農林水産物販売促進協議会等負担金支出など10,652千円であった。

「3 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業」の事業費は499,049千円であった。主な事業については、農畜産業振興機構からの補助事業として、家畜市場の活性化を図るための購買者に対する購買助成、肉用牛ヘルパー利用組合等の活動経費に対する助成等の沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業399,757千円、CSF等の感染から貴重なアグー種豚を守るため、県内離島への隔離施設の整備として種豚等流通円滑化推進緊急対策事業35,022千円、畜産特別資金借り受け者への推進指導事業である畜産特別資金推進指導事業1,672千円を実施した。

また、沖縄県からの受託事業として、沖縄県産畜産物学校給食提供推進事業90,451千円、県産農林水産物輸出体制構築事業15,243千円、県産肥育牛ブランド力強化事業12,595千円、県畜産経営体の経営診断分析や、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業である畜産経営技術改善指導事業2,200千円、畜産担い手育成総合対策整備事業実施計画策定事業2,707千円を実施した。

(公社)中央畜産会からの受託事業として畜産クラスター関連事業の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業3,471千円の受託事業等を実施した。

## < 事業別概要 >

### 1. 家畜・畜産物の価格安定事業

#### (1) 肉用子牛生産者補給金制度

##### 1) 肉用子牛生産者補給交付金

0 円

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づいて、肉用子牛の価格が保証基準価格（黒毛和種 541,000 円、乳用種 164,000 円、交雑種 274,000 円）を下回った場合に肉用子牛の生産農家に対し生産者補給金を交付すること等により、肉用子牛の生産及び価格の安定を図りもって肉用牛経営の健全な発展に資するための事業である。

令和 3 年度は、黒毛和種、乳用種、交雑種について、平均売買価格が保証基準価格を上回ったため、補給金の交付には至らなかった。

なお、肉用子牛の 1 月から 12 月までの個体登録頭数は、黒毛和種は 24,360 頭、乳用種は 7 頭、交雑種は 186 頭、合計 24,553 頭となっている。

事業の実績は、下記のとおりである。

#### ア 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	繁殖	酪農	一貫	哺育	合計
個人	2,012		8		2,020
農協					
農協連					
農事組合法人	2				2
株式会社	29		1		30
有限・合名・合資会社	32		2		34
民法法人					
合計	2,075		11		2,086

#### イ 事務委託先契約締結状況

(単位：件)

事務委託先	事務委託先数	備考
総合農協	1	(支所等 13カ所)
専門農協		
農協連		
その他		
合計	1	

※ () 番号は、事業一覧の事業番号を記載している。

ウ 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

区分 品種区分	令和3年 1月1日～ 3月31日	令和3年 4月1日～ 6月30日	令和3年 7月1日～ 9月30日	令和3年 10月1日～ 12月31日	令和3年 1月～12月 合計
黒毛和種	6,063	6,105	6,026	6,166	24,360
乳用種	0	4	0	3	7
乳交雑種	11	66	84	25	186
合計	6,074	6,175	6,110	6,194	24,553

エ 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	541,000	429,000	
褐毛和種	498,000	395,000	
その他の肉専用種	320,000	253,000	
乳用種	164,000	110,000	
乳交雑種	274,000	216,000	

オ 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種別	体 重	
黒毛和種	250キログラム以上	320キログラム以下
褐毛和種	260キログラム以上	330キログラム以下
無角和種	200キログラム以上	270キログラム以下
日本短角種	200キログラム以上	280キログラム以下
アンガス種及びヘレフォード種	260キログラム以上	310キログラム以下
ホルスタイン種(雌を除く)	250キログラム以上	330キログラム以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260キログラム以上	320キログラム以下

カ 平均売買価格

(単位：円)

区 分	品種区分				
	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	乳交雑種
令和3年1月1日～3月31日	774,500	721,900	—	249,800	380,500
令和3年4月1日～6月30日	756,800	666,300	—	246,300	339,000
令和3年7月1日～9月30日	720,400	600,500	—	245,300	326,900
令和3年10月1日～12月31日	738,100	659,800	311,800	237,600	315,400

※平均売買価格は、農林水産大臣の指定する家畜市場における指定肉用子牛の四半期毎の平均価格

※「その他肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年(4月～3月)としている。

キ 生産者積立金造成内訳

品 種	区 分	契 約 頭 数	積 立 単 価	積 立 所 要 額	負 担 区 分		
					農 畜 産 業 振 興 機 構	沖 縄 県	生 産 者
		頭		円	円	円	円
黒毛和種	1～12月	24,360	1,600	38,976,000	19,488,000	9,744,000	9,744,000
乳用種	1～12月	7	6,800	47,600	23,800	11,900	11,900
乳交雑種	1～12月	186	3,200	595,200	297,600	148,800	148,800
合 計		24,553	—	39,618,800	19,809,400	9,904,700	9,904,700

参 考

1. 負担区分：機構 1/2, 県 1/4, 契約生産者 1/4
2. 契約生産者の1頭あたり積立金額：

区 分	負 担 金		備 考
	令和3年1月～令和3年12月		
黒 毛 和 種	400円		
乳 用 種	1,700円		
乳 交 雑 種	800円		

ク. 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分		乳交雑種	合 計
		黒毛和種	乳用種		
I 期 首 残 額	1 生産者積立金	33,703,018	60,400	587,200	34,350,618
	2 生産者積立準備金				482,492,526
	内 3 生産者の負担金充当分				189,732,748
	4 都道府県の生産者積立助成金充当分				292,759,778
	5 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分				0
	6 生産者積立金純増加額 (9+12+15+18)	24,541,600	35,700	446,400	25,023,700
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	7 生産者積立準備金からの繰入額 (10+13+16)	14,434,400	11,900	148,800	14,595,100
	8 計	38,976,000	47,600	595,200	39,618,800
	内 9 負 担 金	5,053,600	11,900	148,800	5,214,300
	生産者 10 生産者積立準備金3からの繰入額	4,690,400	0	0	4,690,400
	11 小 計	9,744,000	11,900	148,800	9,904,700
	都道府県 12 生産者積立助成金	0	0	0	0
	13 生産者積立準備金4からの繰入額	9,744,000	11,900	148,800	9,904,700
	14 小 計	9,744,000	11,900	148,800	9,904,700
	機関 15 生産者積立助成金	19,488,000	23,800	297,600	19,809,400
	16 生産者積立準備金5からの繰入額	0	0	0	0
	17 小 計	19,488,000	23,800	297,600	19,809,400
	その他 18 生産者積立金とすることを指定 して寄付又は補助された財産				0
					0
III 他 の 資 金 か ら の 繰 入 状 況	19 特別の積立金から生産者積立金への繰入額				0
	20 調整積立金から生産者積立金への繰入額				0
	21 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額				0
	22 生産者積立金に係わる運用果実	1,248			1,248
	23 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入額				0
	24 生産者補給金交付額21を含む				0
	25 生産者積立金からの借入金返済額				0
	26 その他資金からの繰入による借入金返済額 (ほか債務減免額)				0
	27 生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額				0
	28 生産者積立準備金に係わる運用果実				4,756
	29 生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額				0
	30 生産者積立準備金からの返還額 (生産者分)				0
	31 生産者積立準備金からの返還額 (都道府県分)				0
	32 生産者積立準備金からの返還額 (機構分)				0
IV 期 末 残 額	33 生産者積立金 (1+8+19+20+21+22+23-24-25-26-27)	72,680,266	108,000	1,182,400	73,970,666
	33 生産者積立準備金 (2-7+27+28-29-30-31-32)				467,902,182
	内 35 生産者の負担金充当分				185,044,218
	36 都道府県の生産者積立助成金充当分				282,857,964
	37 農畜産業振興機構の生産者積立助成金充当分				0

ケ. 特別の積立金造成状況

(ア) 特別の積立金 (黒毛和種)

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		0	—	—	0	
増	積 立 金	0	—	—	0	
	運 用 益	0	—	—	0	
加 小 計		0	—	—	0	
減	価格安定事業勘定へ繰入	0	—	—	0	
	小 計	0	—	—	0	
期 末 残 高		0	—	—	0	

(イ) 特別の積立金 (乳用種)

(単位：円)

区 分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	備 考
期 首 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	
増	積 立 金	—	0	—	0	
	運 用 益	—	0	—	0	
加 小 計		—	0	—	0	
減	償還円滑化積立金へ繰入	—	0	—	0	
	小 計	—	0	—	0	
期 末 残 高		—	1,382,701	—	1,382,701	

コ. 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

区 分	令和元年度				備 考
	黒毛和種	乳用種	乳交雑種	計	
期首の借入金残額		—	0	—	0
期首の償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
積 償 立 還 金 円 実 滑 績 化	機 構	—	0	—	0
	都道府県	—	0	—	0
	生産者	—	0	—	0
	生産者団体	—	0	—	0
合 計		—	0	—	0
全国協会への償還額		—	0	—	0
運 用 益		—	0	—	0
当 期 借 入 金		—	0	—	0
期末償還円滑化積立金の残高		—	5,194	—	5,194
期末の借入金残高		—	0	—	0



サ. 生産者補給交付金交付状況

(単位：円、頭、人)

区 分		保証基準価格の品種区分		黒毛和種	乳用種	乳交雑種	合 計		
令和 2 年 半 度 期	第 4 期 ~	令和3年 1月1日 ~ 3月31日	交付対象	販 売	0	0	0	0	
			頭 数	保 留	0	0	0	0	
			①	合 計	0	0	0	0	
			② 生産者補給金単価		0	0	0		
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0	
			交付対象生産者数		0	0	0	0	
	令和 3 年 半 度 期	第 1 期 ~	令和3年 4月1日 ~ 6月30日	交付対象	販 売	0	0	0	0
				頭 数	保 留	0	0	0	0
				①	合 計	0	0	0	0
				② 生産者補給金単価		0	0	0	
			③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0	
			交付対象生産者数		0	0	0	0	
第 2 期 ~		令和3年 7月1日 ~ 9月30日	交付対象	販 売	0	0	0	0	
			頭 数	保 留	0	0	0	0	
			①	合 計	0	0	0	0	
			② 生産者補給金単価		0	0	0		
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0		
		交付対象生産者数		0	0	0	0		
第 3 期 ~	令和3年 10月1日 ~ 12月31日	交付対象	販 売	0	0	0	0		
		頭 数	保 留	0	0	0	0		
		①	合 計	0	0	0	0		
		② 生産者補給金単価		0	0	0			
		③ 生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0		
		交付対象生産者数		0	0	0	0		
合 計			交付対象	販 売	0	0	0	0	
			頭 数	保 留	0	0	0	0	
			①	合 計	0	0	0	0	
			②生産者補給金単価(平均)		—	—	—		
			③生産者補給金交付額 (①×②)		0	0	0	0	
			交付対象生産者数 (のべ)		0	0	0	0	

## 2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業 26,471,958 円

### ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 20,982,548 円

当制度に係わる業務の適正な実施等を図るため、全国統一電算事務処理システムによる業務の充実と、事務委託先との対象子牛の個体登録、個体識別及び保留確認等の業務の委託契約により適正かつ円滑な実施に努めた。

また、肉用子牛生産者補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先に対し調査指導を行った。

### イ 指定協会運営体制支援事業 5,489,410 円

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施体制の確保を図るため、農畜産業振興機構より財政支援を得て運営体制の強化を図った。

(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業

0 円

県内の肉用子牛価格の低迷を緩和するため、規格雌子牛（黒毛和種）の標準取引価格が、公社の定めた保証基準価格を下回った時に生産農家に補てん金を交付し、肉用牛繁殖農家の経営安定に資するための事業である。

令和3年は、全期間を通じて、標準取引価格が保証基準価格を上回って推移したため、補てん金の発動はなかった。

○令和3年の取引状況

(単位：円)

区 分			沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業に係る規格子牛価格と補てん金単価				
年度	品種区分	月 別	県内指定 市場雌雄 平均価格	標準取引 規格雌子 牛価格A	保証基準 規格雌子 牛価格B	差額 C=B-A	補てん単価 D=C×0.9
令和3年度	黒毛和種	1月	645,366	672,044	477,000		0
		2月	617,125	639,947	477,000		0
		3月	633,029	666,662	477,000		0
		前年度 第4四半期	<b>632,672</b>	<b>660,510</b>	<b>477,000</b>		0
		4月	684,666	710,397	477,000		0
		5月	663,710	710,173	477,000		0
		6月	610,450	640,407	477,000		0
		第1四半期	<b>652,405</b>	<b>684,669</b>	<b>477,000</b>		0
		7月	623,174	651,912	477,000		0
		8月	620,450	653,418	477,000		0
		9月	612,444	652,724	477,000		0
		第2四半期	<b>619,643</b>	<b>652,591</b>	<b>477,000</b>		0
		10月	599,892	614,690	477,000		0
		11月	620,290	662,102	477,000		0
		12月	649,545	687,388	477,000		0
		第3四半期	<b>619,533</b>	<b>647,165</b>	<b>477,000</b>		0

○保証基準価格：平成31年4月から477,000円。

○標準取引価格：指定家畜市場（南部、伊江村、宮古、八重山、今帰仁、黒島）の雌規格子牛価格の加重平均を移行。

### (3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛肥育経営は、素牛の導入から肥育牛の出荷まで一定期間を要し、かつ、生産費用に占める素畜費の割合が大きいことから、素牛価格と枝肉価格の水準によって経営収支の悪化が懸念される。

本制度は、肉用牛肥育経営安定基金を設け、肥育経営の収益性が悪化した時に肥育牛補填金を交付することにより肉用牛肥育経営の安定を図り、肉用牛生産基盤の拡大に資することを目的に実施した。

#### ア 令和3年度肉用牛肥育経営安定交付金制度

(令和3年4月～令和4年3月) 契約生産者農家数 35 戸  
 肥育牛積立頭数 1,829 頭  
 基金造成額 11,358,712 円  
 (生産者 9,804,062 円、沖縄県 1,554,650 円)

#### 補填金交付実績 6,667,141円

区分	品種区分	支払区分	交付対象		肥育牛補填金	
			人数(人)	頭数(頭)	単価(円/頭)	交付額(円)
3年1月販売	肉専用種	精算払	14	183	3,339.4	458,339
3年2月販売	"	概算払	14	172	35,594.6	4,591,692
		精算払			2,898.4	373,899
3年6月販売	"	"	17	190	8,678.8	1,243,211
合計			45	545		6,667,141

※令和2年4月から生産者負担金の納付猶予が措置(新型コロナウイルス感染症対策)

※令和2年5月支払分から生産者積立金払底のため国費分(4分の3)のみ交付

#### イ 肉用牛肥育経営安定交付金制度(業務委託費) 4,696,870円

令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)肉用牛肥育経営安定交付金制度の円滑な推進を図るため、推進会議等を開催するとともに、調査及び指導、事業の普及・啓発活動、肥育牛の個体登録・販売等の事務を推進した。

**(4) 肉豚経営安定交付金制度**

117,331,200 円

肉豚経営安定交付金制度は、独立行政法人農畜産業振興機構の事業で平成30年12月30日から畜産経営に関する法律制度に移行、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に肉豚の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉豚生産者の経営を及ぼす影響を緩和することを目的とする制度である。

なお、令和3年度については、各半期ごと標準的販売価格が上回った為、補填金の交付はなかった。

月別	対象頭数	補填金		負担金単価（円/頭）			負担金総計
		単価	補填金額	生産者 313円	県 32円	公社 55円	
1四半期	70,380	0	0	22,028,940	2,252,160	3,870,900	28,152,000
2四半期	71,425		0	22,356,025	2,285,600	3,928,375	28,570,000
3四半期	75,071		0	23,497,223	2,402,272	4,128,905	30,028,400
4四半期	76,452		0	23,929,476	2,446,464	4,204,860	30,580,800
合計	293,328		0	91,811,664	9,386,496	16,133,040	117,331,200

肉豚価格安定対策事業年度別実績の推移

県内における肉豚生産量は、と畜頭数313,146（対前年比99.84%）と前年度を下回った。

年度	養豚経営安定対策事業			と畜実績		
	補てん頭数 (頭)	補てん金額 (千円)	補てん単価/頭 (円/頭)	と畜頭数 (頭)	枝肉重量 (kg)	平均枝重 (kg/頭)
15	142,954	336,714	2,355	374,173	29,402,953	78.6
16	55,447	93,351	1,684	356,504	27,459,733	77.0
17	38,712	30,894	798	324,134	25,096,838	77.4
18	32,789	18,869	575	326,613	25,265,363	77.4
19	0	0	0	325,003	24,635,753	75.8
20	161,786	258,772	1,599	324,269	24,614,715	75.9
21	301,088	461,490	1,533	354,268	27,290,602	77.0
22	312,963	258,017	824	366,349	28,856,058	78.8
23	329,767	447,919	1,358	353,315	28,201,328	79.8
24	322,041	788,454	2,448	350,824	28,573,869	81.4
25	0	0	0	332,258	26,713,543	80.4
26	0	0	0	310,833	24,680,140	79.4
27	0	0	0	312,107		
28	0	0	0	316,268		
29	0	0	0	331,481		
30	0	0	0	337,175		
元	0	0	0	318,968		
2	0	0	0	313,636		
3	0	0	0	313,146		
合計	1,697,547	2,694,480	13,176	6,028,178	320,790,895	0.983

\* と畜実績は与那国を含まない。平成27年度より枝肉重量データは、廃止とした。

\* 昭和62年度～平成12年度：豚価安定対策事業

\* 平成13年度～平成19年度：肉豚価格安定対策事業（地域肉豚生産安定基金造成事業）

\* 平成20年度～平成21年度：肉豚価格安定対策事業（肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業）

\* 平成22年度～平成30年度：養豚経営安定対策事業

\* 令和元年度～令和3年度：肉豚経営安定交付金制度

## 2. 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業 (公社単独事業)

(5) 家畜改良促進事業 4,042,500 円

1) 全国畜産共進会協議会負担金 542,500 円  
5年ごとの祭典である全国和牛能力共進会に本県から出品するための協議会への負担金。

2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金 1,500,000 円  
沖縄県畜産共進会協議会が行う沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金

3) 沖縄県優良肉用牛生産推進事業 2,000,000 円  
肉用牛の遺伝的能力評価の普及を図るための事業。

・ 優良肉用牛生産推進事業に係る業務委託 (家畜改良協会) 2,000,000 円

(6) 畜産物需給総合調整事業 10,652,286 円

1) 県産食肉等消費促進対策事業 8,652,286 円

県内で生産された食肉や鶏卵等を販売する事業者が行う消費促進活動に対し、その経費の一部を助成した。また、「まーさんエコバッグ」の作成や「まーさん市場」オンライン販売会、「うちな〜いい肉の日キャンペーン」を開催するなど、県産畜産物の消費拡大を図った。

[主な販促活動内容]

(助成事業)

・ 石垣牛の販売促進事業の実施：JA石垣牛肥育部会 245,000 円  
ラジオ広告、新聞告知等の広報活動

・ 県産鶏卵の販売促進 (コロナ対策による) 33,916 円  
学校給食への無償提供

・ 県産ブランド肉の消費拡大：おきなわブランド肉生産販売推進部会 154,750 円  
県産和牛、鶏卵、アグー等のドライブスルー販売会  
主な内容：新型コロナの影響により中止となった「おきなわ花と食のフェスティバル2022」

(直接事業)

・ 「うちな〜いい肉の日キャンペーン」の実施 250,000 円  
： 沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会

開催期日：令和3年11月1日～12月20日

開催場所：JAおきなわ食彩館「菜々色畑」、ファーマーズマーケット「ちゃんぶる一市場」等

主な内容：県産畜産物の特別販売会、懸賞公募キャンペーン  
マネキン販売員による量販店での販売促進活動

・ 「まーさん市場」オンライン特別販売会の実施 5,852,000 円

実施期間：令和4年2月24日～令和4年3月6日 (商品発送：3月13日)

事業者：13事業者 (牛肉、豚肉、鶏肉、山羊肉、鶏卵、牛乳、畜産物加工品)

主な内容：新型コロナの影響により中止となった「おきなわ花と食のフェスティバル2022」の代替施策として、WEB特設サイトにて「まーさん市場」出店予定者の商品をオンラインでの販売会を実施。

・ その他 2,116,620 円

- ・ まーさんエコバッグ 2,400部 (997,920)
- ・ まーさんキャンバスター 1,000部 (876,700)
- ・ 飼料施設利用事業新施設落成 協賛広告 (66,000)
- ・ 県食肉センター創立50周年記念 協賛広告 (110,000)
- ・ 元旦協賛広告 (沖縄タイムス・琉球新報) (66,000)

2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金 2,000,000 円

沖縄県産農林水産物の消費・需要の拡大及び生産振興を図ることを目的として設立された沖縄県農林水産物販売促進協議会及び沖縄県産食肉等消費拡大推進協議会に対する負担金等。

**(7) 県産農林水産物輸出体制構築事業**

**15,243,745 円**

県産畜産物の輸出货量拡大を推進するため、豚肉や牛肉、鶏肉、鶏卵、県産食肉を使用した加工品等の定番化に向けた継続的な販促活動及び販路拡大のための新規市場調査を実施した。

- ・店舗等プロモーション（香港16件、シンガポール1件）
- ・新規市場開拓（タイ1件、マカオ1件）
- ・新たに輸出に取り組む生産者支援（香港1件）

**(8) 県産食肉異業種連携緊急販売促進事業**

**5,719,831 円**

新型コロナ感染症の影響を受けた和牛肉等の需要喚起を図るため、沖縄県ホテル協会と連携し、県内ホテル（県ホテル協会加盟ホテル）において、沖縄観光のPRと県産和牛肉メニューを取り入れたフェアを実施。提供される県産和牛肉の一部助成や、当フェアにかかる広報等を実施した。

- ・実施期間：令和4年1月～令和4年3月
- ・提供数量：2,413kg
- ・食肉事業者：9事業者
- ・実施ホテル：14ホテル



### 3. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業

#### (9) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業

334,489,926 円

機構補助金 (334,489,926円)

本県の肉用牛は、農業の基幹部門として極めて重要な作目となっているが、その生産の主体は本県の離島地域における子牛生産および域外供給となっている。そのため、島嶼性からくる生産不利条件の緩和を図る必要があるとともに、近年の生産者の高齢化や担い手不足に対処することで、安定的な肉用牛経営の実現を図るための事業である。

#### ア 事業内容

##### ①中核的担い手育成増頭推進

地域の中核的担い手が計画的に優良な繁殖雌牛を増頭した増頭実績に応じた奨励金を交付する。

##### ②優良繁殖雌牛導入支援

地域の改良に必要な優良繁殖雌牛の導入を通じて地域の改良基盤を維持するため、導入計画に基づき生産者集団等が雌牛を導入し、農業者等に一定期間貸し付けする場合に奨励金を交付する。

##### ③遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において、多様な系統群の確保による改良基盤の強化を推進するため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を導入し、農業者等に一定期間貸し付けする場合に奨励金を交付する。

##### ④肉用牛ヘルパー推進

肉用牛の組織的な生産活動を推進し、労働負担の軽減を図るため、肉用牛ヘルパー利用組合等、肉用牛互助組織の活動経費に対し助成する。

##### ⑤肉用牛振興推進指導

肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための会議の開催、先進事例の調査、肉用牛ヘルパーの実態調査及び推進指導等を行う。

##### ⑥離島等及び山振地域における肉用牛推進

各家畜市場において、島外の購買者に対する購買助成、島外の子牛生産者に対する島外出荷助成および一定条件で子牛を出荷した場合に優良子牛出荷助成を行う。

##### ⑦地域の特色ある肉用牛生産推進指導

離島等及び山振地域における肉用牛推進の事業を円滑に実施するための会議開催、推進指導等を行う。

#### イ 事業実績

事業名	沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業 (ア)肉用牛生産基盤強化対策					合計
	①中核的担い手育成増頭推進	②優良繁殖雌牛導入支援	③遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保	④肉用牛ヘルパー推進	⑤肉用牛振興推進指導	
肉用牛集団等						
宮古和牛ヘルパー利用組合				14,557,494		14,557,494
久米島和牛ヘルパー組合				4,489,023		4,489,023
南部肉用牛ヘルパー組合				20,751,131		20,751,131
石垣島肉用牛ヘルパー組合				15,686,711		15,686,711
伊江村肉用牛ヘルパー組合				4,718,022		4,718,022
北部肉用牛ヘルパー利用組合				10,488,621		10,488,621
黒島肉用牛生産組合				3,135,802		3,135,802
沖縄県農業協同組合	1,840,000	1,500,000	650,000			3,990,000
沖縄県畜産振興公社					5,552,573	5,552,573
計	1,840,000	1,500,000	650,000	73,826,804	5,552,573	83,369,377

#### (イ) 地域の特色ある肉用牛振興対策

肉用牛集団等	⑥離島等及び山振地域における肉用牛推進			⑦地域の特色ある肉用牛生産推進指導	計
	離島等子牛流通活性化	優良子牛適正出荷推進	子牛流通活性化推進		
沖縄県農業協同組合	233,411,100	14,802,000	0		248,213,100
沖縄県畜産振興公社				2,907,449	2,907,449
計	233,411,100	14,802,000	0	2,907,449	251,120,549

(10) 畜産経営災害総合緊急支援事業 0円

台風等の災害により被災した生産者に対し、経営継続のための畜舎及び機械設備等の補改修等並びに災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機器の稼働のための災害用電源確保の整備のための支援を行う。

(11) 畜産経営技術改善指導事業 2,200,000 円

この事業は、畜産経営体の経営・生産技術の高度化を図るため、支援指導体制の確立、専門家による支援指導、畜産経営に必要な関係情報の提供等を行う事業であり、事業の内容並びに実施状況は次のとおりである。

ア. 指導事業

(ア) 畜産コンサルタント団の設置

畜産コンサルタント5人 計5人

(イ) 個別支援指導

畜産経営体等からの要請内容に応じて畜産コンサルタント団を編成し、畜産農家に対して総合的な経営診断分析を行い、畜産経営技術の高度化を図り、生産性の向上並びに所得の高い安定した経営体を確立するための個別支援・指導を行った。

個別支援指導実績

個別指導内容	畜 種 別				
	肉用牛	酪農	養豚	採卵鶏	計
総合診断指導	5件	1件	0件	0件	6件
部門診断指導	11件	0件	1件	0件	12件
計	16件	1件	1件	0件	18件

イ. 事業推進

(ア) 地域支援指導

講習会の開催：1回（伊平屋村）

内 容：①現場で実践！アニマルウェルフェアの取り組みについて

②畜産経営技術改善指導事業における経営分析及び経営支援について

③その他

参加人数：13人

(イ) 畜産経営関係情報のホームページによる提供

沖縄県畜産振興公社ホームページにおいて畜産経営情報等提供ページを開設し運用管理を行った。また、中央畜産会が運用管理する畜産情報ネットワーク（LIN）を活用して畜産情報の提供を行った。

(ウ) 会議・研修・その他

①県内地域協議会等への出席：1回（Web開催、参加人数2人）

②研修会等への参加：なし（新型コロナウイルス感染症のため次年度へ延期）

③資料配布：研修会に参加した農家、コンサル指導対象農家、家畜保健衛生所、農業改良普及課・農業改良普及センター、市町村、農協等の要望に応じて繁殖台帳等を配布

## (12) 畜産特別資金推進指導事業 1,672,409円

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、生産者団体、金融関係団体、畜産指導団体をもって構成する畜産経営改善推進協議会を開催し統一的な指導方針のもとに融資機関に対する指導、並びに借受農家の経営分析等を行って濃密指導を行った。

### ア. 畜産特別資金借受戸数及び借受農家指導実績

資金名	借受者戸数	延べ指導件数	うち濃密指導
畜産経営維持緊急支援資金	12戸	12件	2戸
大家畜特別支援資金	1戸	1件	1戸
計	13戸	13件	3戸

### イ. 協議会等の開催

(ア) 県推進協議会の開催：1回（13人）

(イ) 専門委員会の開催：2回（延べ26人）

### ウ. 借入者の進捗状況調査の実施

畜産特別資金借受者の令和3年12月末借入残高調査を実施した。

畜産特別資金借受者の借入残高調査：1金融機関（13戸）

### エ. 経営改善の定期的な実績点検の実施

借受者の経営改善計画の達成度及び問題点の早期把握と改善対応に役立つため、年2回（6月・12月）の実績点検を実施し、日常的に生産技術データや借受者の収入・支出状況の把握に務めた。

大家畜特別支援資金の借受者1戸（上期1戸、下期1戸）

## (13) 貸付事業指導等事業 544,776円

畜産近代化リース協会より畜産機械・施設等を借り受けている農家を対象に借り受け機械・施設等の確認及び管理状況の調査を行うとともに適正な利用について技術指導を行った。

### ア. 貸付機械施設の確認等に係る調査・技術指導事業

(ア) 貸付事業指導等事業推進会議の開催：1回開催（参加人数6人）

(イ) 調査・指導農家等戸数及び調査件数：17農場等（51施設機械の調査指導）

### イ. 新規開拓に係る調査事業

(ア) 畜産関係施設貸付事業に関する意見交換会：1回実施（参加人数8人）

## (14) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調整委託事業 2,707,111円

土地条件等からみて、今後とも畜産生産地として安定的な発展が見込まれる地域において、当事業参加予定肉用牛農家を対象にした経営概況の調査を行うとともに飼料基盤の開発整備、農業用施設の整備計画等の策定調査を実施し、畜産担い手育成総合整備事業の実施及び地域の実情に応じた生産性の高い畜産経営の確立に寄与する事業で、今年度の実績はなかった。

ア. 肉用牛経営概況調査：肉用牛農家12戸

イ. 経営改善計画の作成：肉用牛農家12戸

内容：①粗飼料生産計画及び飼料給与計画、②肉用牛生産出荷計画、③事業資金計画、④資金借入及び償還計画、⑤経営収支計画、⑥資金運用計画、⑦ふん尿処理計画、⑧施設整備計画、⑨労働時間計画、⑩その他

**(15) 家畜防疫互助基金支援事業 1,228,824円**

口蹄疫や豚熱、アフリカ豚熱等の伝染病が万一発生した場合、発生農場が経営再開までに必要な経費等を生産者が相互に支援するための仕組みについて、その趣旨、事業の内容等の周知徹底に努め、事業参加者に対し家畜防疫互助金交付契約の締結及び互助金を交付するのに必要な推進業務を実施した。

①家畜防疫互助金の積立実績（令和3～5年度）

（ア）豚互助基金

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
積立額（円）		21,112,495	—	—	21,112,495
契約農家戸数（戸）		35	—	—	35
契約頭数	繁殖用雌豚（頭）	13,788	—	—	13,788
	繁殖用雄豚（頭）	465	—	—	465
	肥育豚（頭）	142,211	—	—	142,211
	合計（頭）	156,464	—	—	156,464

（イ）牛互助基金

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
積立額（円）		7,959,615	—	—	7,959,615
契約農家戸数（戸）		944	—	—	944
契約頭数	肉用牛（頭）	38,367	—	—	38,367
	乳用牛（頭）	3,428	—	—	3,428
	合計（頭）	41,795	—	—	41,795

②家畜防疫互助金の交付申請及び認定委員会の実績（令和2年度実績）

令和2年1月の豚熱発生に伴い互助基金に係る交付認定委員会を開催

- ・互助金交付単価の認定
- ・導入計画の認定（殺処分・契約・経営再開頭数、算定基準の確認）

契約生産者 3戸（5農場）

互助金交付額 98,977,529円

**(16) 家畜防疫・衛生指導対策事業 940,131円**

家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実にかつ効率的なものとするため、国家防疫措置に併せて、地域における重要な家畜疾病を対象とした防疫演習、慢性感染症対策、馬伝染性貧血防疫等の自衛防疫活動を推進するとともに、家畜衛生の向上と家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要なツールである農場HACCP認証に必要な農場での構築指導、認証取得の導入促進となる推進農場の構築手順の

提供等、家畜衛生対策を総合的に実施した。

ア. 地域自衛防疫推進事業（沖縄県獣医師会へ委託）

口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の発生時の迅速かつ的確な防疫措置が実施できるよう、生産者段階での初動防疫体制の充実・強化を図るため、家畜保健衛生所等関係機関の協力のもと防疫演習を実施した。

（ア）地域自衛防疫取組促進

なし

（イ）地域自衛防疫活動推進

①開催日及び場所

令和3年11月 中央家畜保健衛生所（八重瀬町）

令和3年11月 八重山合同庁舎大会議室（石垣市）

令和3年12月 宮古島市総合体育館（宮古島市）

②内容

特定家畜伝染病防疫資材搬出に係る防疫実働演習

八重山地域特定家畜伝染病防疫演習

宮古地域特定家畜伝染病防疫演習

イ. 地域農場HACCP認証支援事業

（ア）普及推進協議会

地域における畜産関係団体、農場HACCP関係者による普及推進のための方策について検討した。

①開催日及び場所

令和3年12月 沖縄畜産振興支援センター会議室

②主な内容

農場HACCP取組の概要

取組事例の紹介

県内の農場HACCP取組状況について

（イ）地域取組促進活動

以下により1回実施した。

①開催日及び場所

令和3年12月 琉球大学農学部多目的室

②主な内容

農場HACCP取組の概要

取組事例の紹介

取組スケジュールについて

（ウ）農場HACCP認証構築指導推進事業

①構築指導事業

都道府県における、農場認証に取組む農場を対象に農場で構築指導を実施するとともに、既認証農場に対して内部検証等のフォローアップを行った。（年1戸）

ウ. 地域推進事務

事業を円滑に実施するため、関係機関や団体等との連絡調整の推進事務を行った。

**(17) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査 160,000円**

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国

の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめを行った。

- ①調査戸数 酪農1戸 肉用牛2戸
- ②調査内容 経営の概要、当期生産費用と損益、投資・負担の概要  
生産技術、管理技術の概要等

**(18) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 3,471,115円**

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、下記に掲げる事業の推進業務、事業参加要望書の取りまとめ業務などの推進業務を実施した。

- ①県内における事業の推進業務（事業説明会等）  
事業説明会2回開催 参加人数 計51人
- ②県内における事業参加要望書取りまとめ業務（令和3年度分）  
取組主体数 55件

要望金額計	補助金額計
364,811,372円	182,405,684円

- ③県内における事業参加申請書取りまとめ業務（令和2年度～令和3年度分）  
取組主体数 69件
- ④県内における実績報告書取りまとめ業務（平成30年度～令和2年度分）  
取組主体数 46件

事業費計	補助金額計
213,815,469円	106,747,619円

- ⑤県との協議に係る窓口業務 8協議会
- ⑥県内における事業の執行に係る連絡・調整、データ整理及び調査業務
- ⑦その他（全国会議への出席等）

※(注)補助金は中央畜産会より交付されています。

**(19) 獣医師養成確保修学資金給付事業 4,320,000円**

沖縄県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師への就業を志す獣医修学生を対象に修学資金を給付する事業。令和3年度は、沖縄県農業共済組合に就業する予定である獣医修学生2名に対し、修学資金の給付を実施した。

**(20) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業 388,312円**

獣医師養成確保修学資金給付事業を円滑に行うための推進事業

**(21) 県産肥育牛ブランド力強化事業 12,595,200円（沖縄県、公社）**

県内の肉用牛肥育農家戸数及び飼養頭数は、平成21年度以降減少傾向にある。要因として、肉用子牛価格の高騰がある。本事業では、肥育農家に対し、優良な肥育素牛の活用による能力向上を支援するとともに、肥育技術研修、市場調査等により県産牛ブランド力を強化し肥育経営の安定化を図るため、肥育素牛導入に要する経費の一部補助を実施した。

事業費負担（公社 6,297,600円、県 6,297,600円）

	戸数 (戸)	頭数 (頭)	奨励金単価 (頭/円)	交付額 (円)
県産肥育牛ブランド力強化 事業	11	416	30,000	12,480,000
JA事務委託費		288	400	115,200
事業費合計				12,595,200

**(22) 畜産経営体生産性向上対策事業（ICT等機械装置等導入事業）**

**190,936円**

畜産経営体生産性向上緊急対策事業（ICT化等機械装置等導入事業）について、事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

① 県内における普及推進業務（事業周知及び調整等）

② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和3年度 事業参加楽酪会議数：1（※事業辞退）

**(23) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（労働負担軽減事業）**

**103,864円**

酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業について、その事業実施手続等の効率化及び事業実施体制の強化を図るため、下記に掲げる業務を実施した。

① 県内における普及推進業務（事業周知及び調整等）

② 県内における事業推進指導・内容確認業務

【参考】令和3年度 事業参加楽酪会議数：0

**(24) 畜産関係団体調整機能強化事業 1,611,000円**

生産者等から経営、技術、制度、資金等、各種相談に応じるため、畜産コンサルタント、畜産クラスターコーディネーター、農場HACCP指導員、JGAP審査員等の専門家を活用した畜産経営窓口を設置し、指導・相談業務を実施した。

① 経営指導のため専門家による指導・助言（2名×2回）

② 役職員のスキルアップのための研修会への出席（WEB開催）

③ 生産者等への相談業務（5回）

**(25) 種豚等流通円滑化推進緊急対策事業 35,022,910円**

**アグーの避難に必要となる避難用豚舎の新設等 34,900,000円**

本県での豚熱発生を受け、久米島へ避難したアグー種豚群を維持することで、特定家畜伝染病等による絶滅リスクの低減およびアグーの保全とブランドの振興を図ることができることから、種豚増殖に必要な繁殖施設を整備するための事業

を実施した。

#### (26)アグー豚増頭振興支援事業 0円（公社独自事業）

アグー種豚群を維持し、アグーの保全およびブランド振興を図るため、久米島で増殖したアグー種豚の普及のため、必要な経費の一部を負担する。

#### (27)生産基盤拡大加速化事業 2,602,177円

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、畜産クラスター計画に基づき、輸出に適した和牛肉の増産を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭実績に応じた奨励金を交付する事業の推進、事業参加要望書及び実績の取りまとめ等の業務を実施した。

- ・協議会数 : 8協議会
- ・事業参加戸数 : 240戸
- ・奨励金対象牛 : 549頭（17.5万円 : 180頭、24.6万円 : 369頭）
- ・奨励金総額 : 122,274,000円

#### (28)優良肉用子牛生産緊急対策事業 0円（※年度途中で事業終了）

新型コロナウイルス感染症の影響による枝肉価格の下落に伴い、肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されることから、肉用子牛の飼養頭数を維持することを目的として経営改善を図る肉用子牛生産者に対し、全国家畜市場における肉用子牛の取引価格の平均価格が発動基準価格を下回った場合に、奨励金の交付を実施する事業である。

#### (29)肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 1,262,570円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、和牛を中心に牛肉価格が下落したことから、所得や営業利益を3%改善することを目的に、経営体質の強化のための取組を行った肉用牛経営者等に対して、肥育牛が販売された場合に奨励金を交付した。

奨励金の交付状況

- (1) 県内の事業参加者数 : 28人
- (2) 県内の奨励金交付頭数 : 784頭  
うち、牛マルキン登録頭数 : 556頭
- (3) 県内の奨励金交付金額 : 15,680,000円
- (4) 対象販売月 : 令和2年4月～令和3年3月

#### (30)肥育牛経営改善等緊急対策事業 2,285,870円

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、和牛を中心に牛肉価格が下落したことから、所得や営業利益を3%改善することを目的に、経営体質の強化のための取組を行った肉用牛経営者等に対して、肥育牛が販売された場合に奨励金を交付した。



奨励金の交付状況

- (1) 県内の事業参加者数： 28人
- (2) 県内の奨励金交付頭数： 464頭  
うち、牛マルキン登録頭数： 409頭
- (3) 県内の奨励金交付金額： 9,280,000円
- (4) 対象販売月： 令和3年4月～令和3年5月

**(31) 離島地域畜産活性化施設整備場フォローアップ事業 201,306円**

公社が実施した離島畜産活性化施設整備事業で整備した食肉センターの運営について、経営改善等の対策が必要なことから、市町村や農協の地域関係機関等が連携し経営体質の強化を図るために必要な各種取組に対して支援を実施する。

令和3年度は、株式会社宮古食肉センターを事業実施主体として事業を実施した。

**(32) 地域・畜産業振興施策スタートアップ事業 608,750円**

島嶼県である本県にあっては、地域または地域内の畜種毎に異なる課題を抱えていることから、地域内の生産者および関係機関等が課題解決のため連携して実施するモデル的な取組に対して支援を実施する。

令和3年度事業対象一覧

事業実施主体	対象課題	実施内容	助成費
沖縄県農業協同組合	養豚生産管理 (宮古)	養豚指導員による農家指導を実施した	455,000
沖縄県農業協同組合 中央会	鶏卵生産流通 体制(県域)	本県の鶏卵における課題を浮彫にし、必要な取組に対しての提言を実施した。	153,750
			608,750

**(33) 沖縄県産畜産物学校給食提供推進事業 90,451,467円**

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴うインバウンド需要の減少や輸出の停滞等により、在庫が滞留している県産畜産物について販売促進を行うことにより、将来のインバウンド需要や輸出の再開等に対応できるよう、学校給食提供推進事業を実施した。

- ・学校給食へのアグー豚肉の提供  
提供数量： 12,354.6kg  
のべ実施学校数： 732校(県内小中学校、特別支援学校、幼稚園等)  
のべ提供人数： 210,247人
- ・子ども食堂等への県産鶏卵の提供  
提供数量： 1,300kg  
のべ提供世帯数： のべ6,198世帯  
のべ提供人数： 9,446人

## 5. その他畜産の振興及び指導に関する補完事業

### (1) 畜産振興補助事業 9,002,000円

国、県等の畜産振興諸施策を円滑に推進するため、次の7事業を実施し、地域畜産に対する支援指導体制の強化及び畜産経営技術の高度化、地域畜産に対する消費者等への理解増進及び地域畜産の活性化、馬事・畜産の普及啓発を図った。

- ① 畜産経営の支援体制の強化を図る事業：5件
- ② 地域畜産の活性化、安全かつ安全な食の提供に資するための事業：2件
- ③ 馬事畜産普及啓発の推進体制の強化を図る事業：0件

### (2) 馬事畜産振興協議会への協力

沖縄県馬事畜産振興協議会へ協力し、佐賀競馬で馬事畜産の普及啓発を行った。

#### 1. 冠競走の実施

第4回佐賀オータムスプリント競走、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与。

#### 2. 法人協賛特別競走の実施

「第3回沖縄まーさん杯、第4回沖縄まーさん杯」の2レース実施し、優勝馬主へ副賞(県産畜産物)を授与し、馬事畜産の普及啓発を行った。

3. 佐賀県馬事畜産振興協議会主催「ウェブde畜産フェア2021」の実施  
畜産フェアの賞品(沖縄県産の畜産物)の提供。

## 6. 収益事業 13,213,027円

### (1) 沖縄畜産振興支援センター運営事業

- ・ 支援センターの事務所賃貸：11,866,800円
- ・ 支援センターの会議室賃貸：546,315円
- ・ 楽天モバイルアンテナ設置：795,300円

### (2) 図書販売受託事業

- ・ 中央畜産会が発刊する畜産関係図書の販売：4,612円

令和3年度事業費（実績）

（単位：千円）

事業名	実績額	
<b>1. 家畜・畜産物の価格安定事業</b>	<b>155,165</b>	
(1) 肉用子牛生産者補給金制度	26,471	
1) 肉用子牛生産者補給交付金交付	0	子牛価格が下落した場合、生産者に補給金を交付
2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業	26,471	肉用子牛生産者補給金制度の適正かつ円滑な実施体制の確保を図るための事業
(2) 沖縄県和牛子牛価格安定特別対策事業	0	雌子牛価格が下落した場合、生産者に補てん金を交付
(3) 肉用牛肥育経営安定交付金制度	11,363	
1) 肥育牛補填金	6,667	肥育牛の粗収益が生産費を下回った場合、生産者へ補てん金を交付する
2) 推進指導事務費	4,696	肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な推進を図るための事業
(4) 養豚経営安定交付金制度	117,331	農畜産業振興機構が実施する養豚経営安定交付金制度への積立金納付業務
<b>2. 家畜・畜産物の改良及び需給調整事業</b>	<b>35,656</b>	
(5) 家畜改良促進事業	4,042	
1) 全国畜産共進会協議会負担金	542	全国和牛能力共進会への出展のための協議会への負担金
2) 沖縄県畜産共進会協議会負担金	1,500	沖縄県畜産共進会開催のための協議会への負担金
3) 沖縄県優良肉用牛生産推進事業	2,000	肉用牛の遺伝的能力評価の普及（改良協会委託）
(6) 畜産物需給総合調整事業	10,652	
1) 県産食肉等消費促進対策事業	8,652	県産食肉等の消費促進活動を実施するのに要する経費に対する助成と、公社が行う販売促進事業
2) 沖縄県農林水産物販売促進協議会等負担金	2,000	県産畜産物の消費拡大を図るための県販売促進協議会等への負担金
(7) 県産農林水産物輸出体制構築事業	15,243	県産農林水産物の安定的な輸出体制構築のため、定番化プロモーション、ブランディング強化、輸出産地支援等を実施する事業
(8) 県産食肉異業種連携緊急販売促進事業	5,719	県産和牛やアグー豚肉等の県産食肉について、観光業をはじめとする異業種間で連携したプロモーションを実施する等生産の安定化や消費拡大を支援する事業。
<b>3. 畜産経営体の経営安定、生産技術の向上及び家畜防疫に関する事業</b>	<b>499,049</b>	
(9) 沖縄県肉用牛経営安定対策補完事業	334,489	子牛の域外販売の促進、組織的な生産活動の推進等（ヘルパー活動）を図り、肉用牛の振興に資する事業
(10) 畜産経営災害総合緊急支援事業	0	災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼働のための非常用電源の整備の整備に係る支援
(11) 畜産経営技術改善指導事業	2,200	畜産経営体の経営診断分析を行い、経営及び生産技術の高度化を図るための支援指導事業
(12) 畜産特別資金等推進指導事業	1,672	畜産特別資金等の借受者に対する経営改善の促進の指導等
(13) 貸付事業指導等事業	544	畜産近代化リース借受施設機械等の確認及び管理状況調査指導事業
(14) 畜産担い手育成総合整備事業実施計画策定調整委託事業	2,707	畜産担い手育成総合整備事業を実施するための飼料基盤の開発整備、事業計画を策定する事業
(15) 家畜防疫互助基金造成等支援事業（推進事業）	1,228	家畜伝染病発生時の互助事業の普及・啓発を図る事業
(16) 家畜防疫・衛生指導対策事業	940	家畜伝染病の発生予防・まん延防止のため、防疫演習などの自衛防疫活動の推進と農場HACCP認証の普及を図る事業
(17) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査	160	全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査・取りまとめ業務
(18) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）	3,471	畜産クラスター関連事業のうち機械導入事業の円滑な実施を図るための推進業務
(19) 獣医師養成確保修学資金貸与事業	4,320	県内の産業動物に携わる獣医を安定的に確保するため、産業動物獣医師を志す獣医学生へ修学資金の給付する事業
(20) 産業動物獣医師確保修学資金給付事業	388	獣医師養成確保修学資金貸与事業の円滑な推進を図るための事業
(21) 県産肥育牛ブランド力強化事業	12,595	県内肥育農家の経営基盤強化及び県産牛肉の安定供給を図るため、肥育素牛導入の経費を一部助成する。
(22) 畜産経営体生産性向上緊急対策事業	190	酪農経営体の労働負担軽減に資する機械装置導入事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(23) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	103	酪農家の労働力省力化推進に係る施設・機械装置整備事業の効率化及び実施体制の強化を図る業務
(24) 畜産関係団体調整整備機能強化事業	1,611	生産者等からの経営、技術、制度、資金等各種相談に応じるための畜産経営窓口を設置し、指導・相談業務の実施。

事業名	実績額	
(25) 種豚等流通円滑化推進緊急対策事業	35,022	豚熱発生を受け久米島に避難したアグーの種豚群を維持することで、特定家畜伝染病等による絶滅リスクを低減させるため、繁殖に必要な施設を整備し、アグーの保全と振興を図る。
(26) アグー豚増頭振興支援事業	0	豚熱等の感染から守るため、県内離島へ避難させたアグーブランド豚の増頭振興を図るための必要な経費の一部について支援金を交付する。
(27) 生産基盤拡大加速化事業	2,602	輸出の拡大に向けて、畜産クラスター計画に基づき、優良な繁殖雌牛の増頭実績に応じた奨励金を交付する事業の取りまとめ及び推進を図る事業
(28) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業	0	新型コロナウイルス感染症拡大で子牛価格が発動基準価格を下回った場合、飼養頭数維持のため経営改善を図る生産者に対し奨励金の交付を実施する事業。(年度途中で事業終了)
(29) 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業	1,262	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う所得低下に対応するため、経営体質強化の取組を行った肉用牛経営者等に対し、販売した肥育牛に奨励金を交付した。
(30) 肥育牛経営改善等緊急対策事業	2,285	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う所得低下に対応するため、経営体質強化の取組を行った肉用牛経営者等に対し、販売した肥育牛に奨励金を交付した。
(31) 離島地域畜産活性化整備事業 <sup>フォローアップ</sup> 事業	201	沖縄食肉価格安定等特別対策事業において整備した食肉センターの経営改善の取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
(32) 地域・畜産業振興施策 <sup>スタートアップ</sup> 事業	608	地域・畜産毎の課題解決に向けた新たな取り組みについて、市町村・JA・地域関係機関を連携した支援を行う事業
(33) 沖縄県畜産物学校給食提供推進事業	90,451	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う需要が減少しているアグーブランド豚肉について、消費促進のため学校給食へ提供し、併せてそのおいしさの魅力を伝え、県内消費を促進する。
総合計	<b>689,870</b>	
うち公社負担事業費	(27,519)	
うち公社独自事業費	(21,222)	

## 2 主な処理事項

年 月 日	処 理 事 項
令和3年4月1日	令和3年度第1回理事会（決議の省略） 審議事項 1 理事長の選定について
令和3年6月2日	令和2年度決算監査
令和3年6月8日	令和3年度第2回理事会 審議事項 1 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について 2 令和3年度事業計画の変更及び第1次収支予算の補正について 3 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務方法書の一部改正について 4 公益財団法人沖縄県畜産振興公社業務方法書（家畜防疫互助事業）の廃止及び公益財団法人沖縄県畜産振興公社手数料徴収規程の制定について 5 任期満了に伴う役員選任の候補者推薦について 6 理事長及び専務理事の選定について（停止条件付き決議事項） 7 令和3年定時評議員会の開催について
令和3年6月30日	令和3年度定時評議員会 審議事項 1 令和2年度決算報告の承認について 2 法人会計から公益目的事業会計への振替額（他会計振替）の承認について 3 任期満了に伴う評議員の選任について 4 任期満了に伴う役員の選任について
令和3年10月24日 ～10月29日	第47回沖縄県畜産共進会 枝肉部門開催
令和3年11月5日	第47回沖縄県畜産共進会 種畜部門開催
令和3年11月29日	「うちな～いい肉の日」キャンペーン特別販売会 （県産畜産物のドライブスル販売）

年 月 日	処 理 事 項
令和3年12月21日	令和4年度第3回理事会 審議事項 1 令和3年度第2次収支予算の補正について 2 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る積立金を適切に管することのできると認められる「農林水産大臣が指定する者」の再指定の申請について
令和4年1月15日 ～3月15日	TASTE OKINAWA 県産和牛フェア
令和4年2月24日 ～3月6日	まーさん市場オンライン特別販売会
令和4年2月28日 ～3月4日	会計実施検査
令和4年3月10日	令和3年度第4回理事会 審議事項 1 理事の補欠選任候補者の推薦について 2 令和3年度第1回臨時評議員会への提案について (評議員会の決議の目的である提案事項)
令和4年3月18日	令和3年度第1回臨時評議員会 (決議の省略) 審議事項 1 理事の選任について
令和4年3月22日	令和3年度第5回理事会 審議事項 1 公益財団法人沖縄県畜産振興公社 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正について 2 肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る手数料の徴収及び単価設定について 3 令和4年度事業計画及び収支予算の承認について 4 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について 5 令和3年度第2回臨時評議員会への提案について (決議の省略)
令和4年3月30日	令和3年度第2回臨時評議員会 (決議の省略) 審議事項 1 理事の選任について

### 3 役員の名簿

令和4年3月31日現在

#### 評議員

氏名	所属先役職名
崎原盛光	沖縄県農林水産部 部長
工藤俊一	沖縄県農業共済組合 組合長理事
當銘真栄	糸満市長
久田浩也	今帰仁村長
大城勉	沖縄県農業協同組合中央会 会長
與那覇信子	沖縄県婦人連合会 会長

#### 理事及び監事

公社役職名	氏名	所属先役職名
理事長	上運天先一	沖縄県農林水産部 参事監
専務理事	仲村敏	沖縄県農林水産部 参事
理事	仲宗根智 古謝景春 新垣安弘 普天間朝重 神谷翔平 宮城哲治 川越雄一郎	沖縄県農業振興公社 理事長 南城市長 八重瀬町長 沖縄県農業協同組合 代表理事理事長 沖縄県酪農農業協同組合 組合長 沖縄県養鶏農業協同組合 組合長 生活協同組合コープおきなわ 理事長
監事	川満博幸 長山敬	沖縄県農業共済組合 常務理事 沖縄県農業協同組合 常務理事